

# 新旧融合今井エリア

～今も昔も人が住むまち～



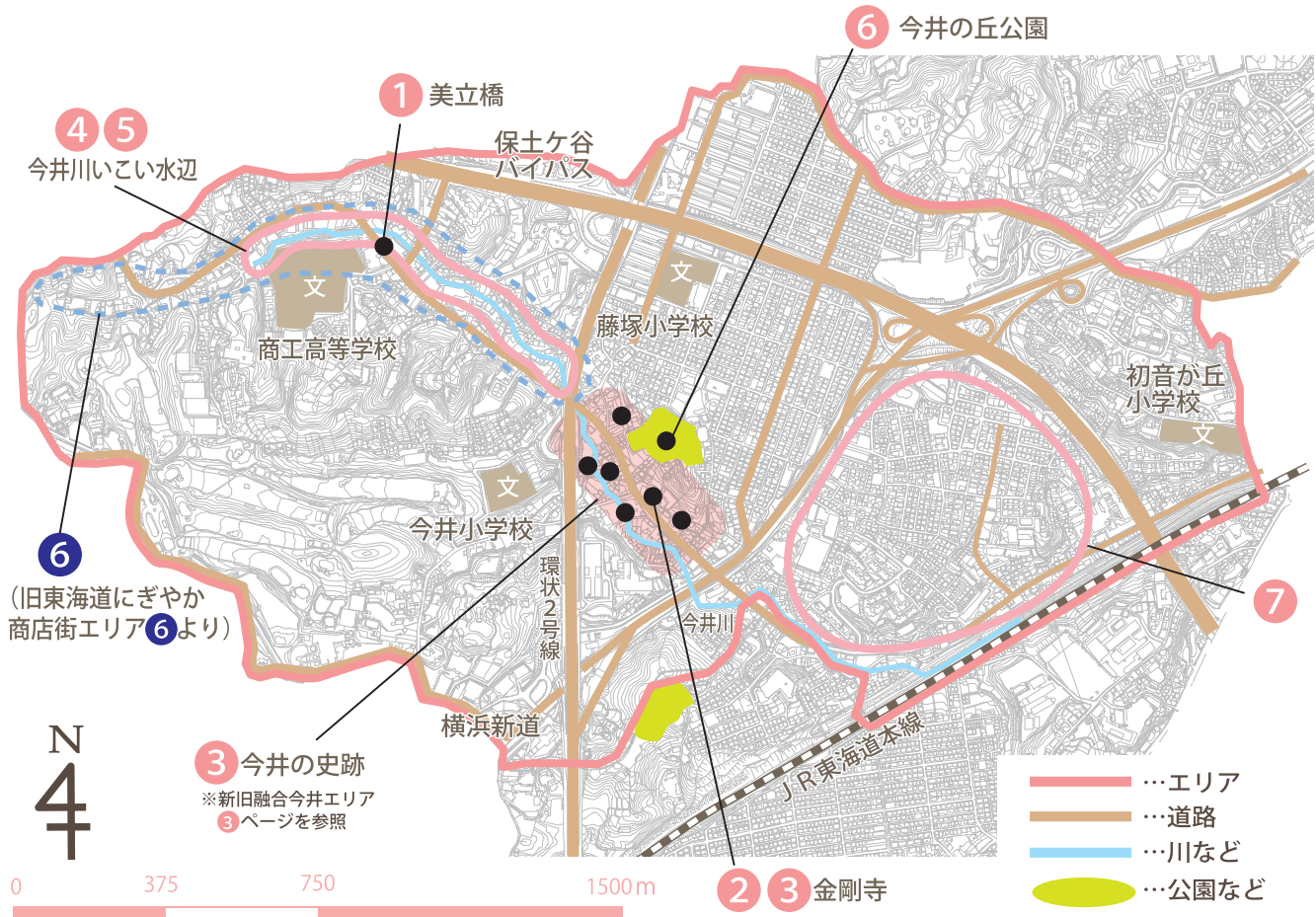
## まちの魅カインデックス

- ① 今井のものがたり～むかしむかし～  
-----
- ② 今井のものがたり～鎌倉みち、古銭～  
-----
- ③ 30分で巡る今井の史跡  
-----
- ④ メダカが遊ぶ 今井川いこいの水辺  
-----
- ⑤ 今井川いこいの水辺の生き物  
-----
- ⑥ 新桜ヶ丘の魅力いろいろ  
-----
- ⑦ 丘の上、閑静な住宅地 法泉

メモ

# 新旧融合今井エリア

「今も昔も人が住むまち」



# 1 今井のものがたり～むかしむかし～

## 160年位昔の美立橋付近の想像画



- ◎今井川…この辺は暗渠あんきょで今はバスの発着所となっている。
- ◎美立橋…暗渠になって無くなり、地名として残っている。
- ◎馬の立場の給水塔…この辺りは160年位前から齊藤商店（豆屋さん）があった。現在は高齢者の介護施設がある。
- ◎後ろの高い山…今井川に、2か所の源流を生んだ大きな山。山は60年位前からゴルフ場になっており、現在は無い。
- ◎今井街道…昔からある今井地区の生活のみち。右は大池を抜け二俣川、左は保土ヶ谷へ。
- ◎左の低い山…今の神奈川県立商工高校辺り 海拔は約97m、保土ヶ谷区内で一番高い場所である。

# 1 今井のものがたり～むかしむかし～

今井町には、大きな高い山があり、水も豊富で地形にも恵まれていた。昔から川のあるところに文化が栄えるという。当時今井町には川もあり、保土ヶ谷に通じる生活の道もあった。

## 今井川

ゴルフ場ができる前までは、水量も多く、上流でも子どもたちが泳ぐ事もできた。鎌倉橋辺りからは、水深が2～3m、川幅も3～4mあり危険だったが、水はきれい、子どもたちが泳ぎ、タナゴ、フナ、ウナギなどをとって楽しんでいた。

今井川は、源流から保土ヶ谷駅脇を経て天王町の帷子川に合流し、約7kmになる。

## 今井の産業

養蚕<sup>ようさん</sup>、蕎麦<sup>そば</sup>、じゃがいも、さつまいも、麦などが主で、獲れた作物はリヤカーに積んで保土ヶ谷、天王町方面へ行商に行っていた。養蚕のために桑の生産も盛んだった。

## 今井の生活

農家は土間（おろし）に台所があり、牛、馬、豚、鶏なども母屋に同居していた。各家庭に井戸があった。トイレは家の中と外にある家が多く、当時の肥料は人糞が主だった。鶏は自分で絞めて食べた。保土ヶ谷、天王町、久保町、藤棚はあこがれの繁華街で、盆暮れには親と映画を見に行く事が楽しみだった。

## 今井の屋号

屋号を見ていると、当時のものがたりが頭に浮かぶ。隠居（いんきょ）、上之家（うえのうち）、上隣（かみどなり）、上之腰巻（うえのこしまき）、鍛冶屋（かじや）、陣屋（じんや）、供養塔（くようとう）、坂下（さかした）、下之店（したのみせ）、下之腰巻（したのこしまき）、饅頭屋（まんじゅうや）、谷戸（やと）、藤助坂（とうすけざか）、星谷戸（ほしやと）、豆屋（まめや）、など（一部）





## 2 今井のものがたり～鎌倉みち、古銭～

ほどがや語りべ集

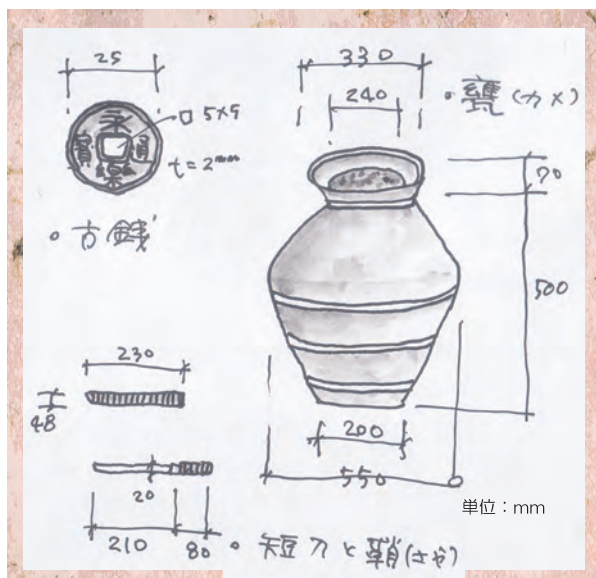
新旧融合今井エリア

今井の鎌倉みちは中の道。品濃町～スポーツクラブ～祐慶坂～子神社～藤塚小～スーパー～長見寺～熊野神社から鶴ヶ峰へ、再び中の道へ合流し、白根から府中を抜け、秩父（奥州）へと続いている。

### 大きな甕に入った古銭、小刀発掘

昭和30年10月に今井城址の近く、拓植ノ木の根元から常滑焼の甕が発掘され、約400kgの古銭と小刀が見つかりました。古銭は、鎌倉時代から戦国時代に使われた、中国からの渡来銭や永楽通宝などです。

古銭などは金剛寺にて大切に保管されています。



### その他

今井川の鎌倉橋上流に清水製糸工場があり、1907年～1920年（明治40年～大正9年）、当時40～50人位の女性従業員さんが出稼ぎで働いていました。当時は電気のない時代だったので、石炭の火力で機械を回転し糸取をしていました。

語りべ：平沢 基志さん

## 3 30分で巡る今井の史跡

今井町界隈は、このエリアの中でも最も古くから人が生活してきた地域です。史跡もたくさんあります。主だったものをご紹介します。想像をいっぱい膨らませて歩いてみてください。



今井川に架かる①鎌倉橋  
「いざ鎌倉！」のとき、懸命に走り抜ける武士たちの顔が浮かびます。

### ②今井天満宮

江戸時代には、この地に寺子屋がありました。今井小学校誕生の地でもあり、菅原道真公を祀り、ここが今井文化発祥の地とも言われています。



### ③田嶋稻荷神社

創設は不明ですが、すぐ横に今井川の流れがあります。付近一帯が水田だった頃から、田の神、稲作の守護神として祀られたものです。



ほどがや語りべ集

新旧融合今井エリア

## 3 30分で巡る今井の史跡

ほどがや語りべ集

新旧融合今井エリア



### ④ 金剛寺

江戸時代、今井村領主有田氏の初代～三代のお墓が現存します。また、「今井城址」の略図や石仏などの文化財が保存されています。



### ⑤ 今井城址

室町時代に築城された山城で、守護神と伝えられる城山稲荷が鎮座しています。



### ⑥ 子神社

建造年代は不明ですが、この地で人が生活を始めた頃、村の中央の丘に産土神（うぶすなのかみ）として祀られ、人々の心の拠り所となっていました。



語りべ：井上 徹さん



## 4 メダカが遊ぶ 今井川いこいの水辺

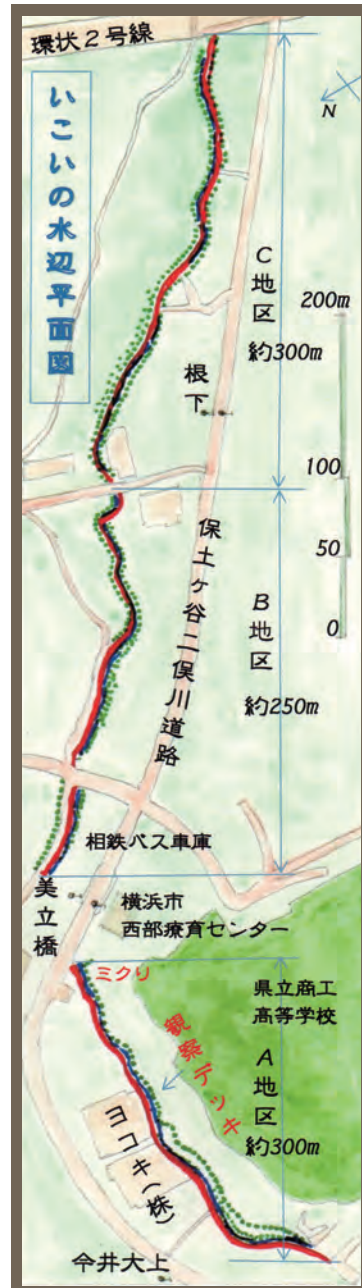
### 今井川いこいの水辺の概要

今井小学校の教師、児童の働きかけにより、メダカのすめる水辺を市に要望。環状2号線の工事で出た整地土砂を、今井川埋設工事に使用し、その土地を市のせせらぎ緑道事業で散策路として整備し、「今井川いこいの水辺」とした。2003年に、A、B、Cの3工区全長850mが完成。それぞれの地区には、四季折々の植物や鳥、昆虫などの生態が身近に見られる。主な樹木には名札がつけられていて、住民の散策路として利用されている。

水源としては、自然の湧水などを埋設管上部に導水している。また、地元住民により日常的な維持管理が行われている。



B地区入口付近。6月にはアジサイが美しい



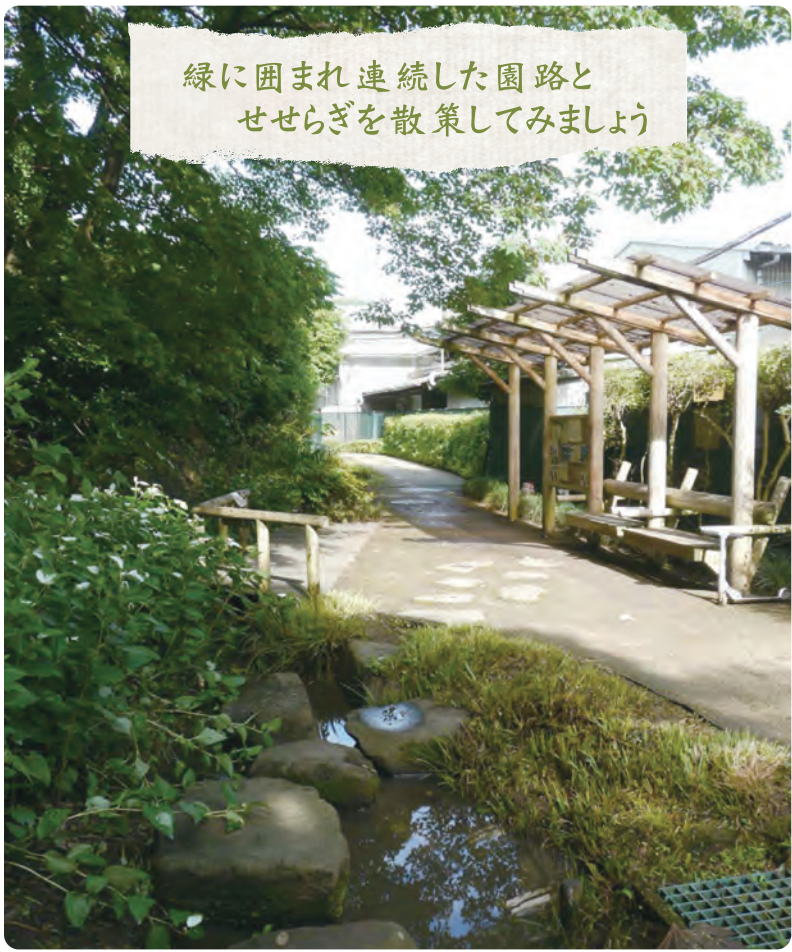
ほどがや語りべ集

新旧融合今井エリア

# 4 メダカが遊ぶ 今井川いこいの水辺

ほどがや語りべ集

新旧融合今井エリア



ミクリ

(準絶滅危惧種)

六月にはハンゲショウ、ミクリが見られます



ハンゲショウ

語りべ：荒井 厚俊さん・妻籠 恭子さん

# 5 今井川いこいの水辺の生き物



B地区 2月下旬

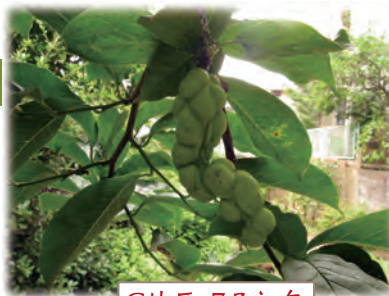
## ヒメガマの穂綿

ヒメガマの穂綿が広がって風に飛ぶ。因幡の白兔が戻るま<sup>いほ</sup>ったのはこれか？



## コブシの実

名前の由来「拳」<sup>こぶし</sup>に似ているから。



C地区 7月初旬

## カラスウリの花

夏の夜に開く一夜花。花びらの先の白い糸が、夜風になびく。



C地区 7月初旬



C地区 9月下旬

## ジュズダマ

ジュズダマでブレスレットを作ろう！



※数珠玉ブレスレット



ほどがや語りべ集

新旧融合今井エリア



# 5 今井川いこいの水辺の生き物

ほどがや語りべ集

新旧融合今井エリア



B地区 3月中旬

## クロメダカ

今井小のこどもたちの思いが、メダカのための水辺を実現。

## 威嚇するアメリカザリガニ



B地区 7月下旬



ザリガニと遊ぼう



B地区 6月上旬 撮影者：高野 彦市さん

## 水辺の小魚を狙うコサギ

数回同時期に飛来を確認。



B地区 4月上旬 撮影者：高野 彦市さん

## 悠然と遊水するカルガモ

大池自然公園からの飛来？

語りべ：荒井 厚俊さん



## 6 新桜ヶ丘の魅力いろいろ

### まちを築く人々

**新**桜ヶ丘地区の魅力は、地域活動やボランティアに関わる人が多いことです。毎年始めに行われる新春地域交流のつどいでは、約40の団体・サークルが一堂に会し、おいしい手料理とともに、活動発表や相互交流を図っています。一度のぞきにきてください。



### 地域で育つ子どもたち

**「藤**塚太鼓」は和太鼓の練習を通し、青少年の健全育成を目的として、平成8年に結成されました。盆踊りや文化祭、「かるがもファミリーマラソン大会」、箱根駅伝などのイベントや福祉施設で演奏すること、年25回以上。子どもたちは大忙しです。

地元の大人たちのやさしい応援を受けて成長し、同時に地域活動



参加の大切さも学んでいます。活動エリアが広がるとともに、参加する子どもたちの地域も広がっています。

ほどがや語りべ集

新旧融合今井エリア

## 6 新桜ヶ丘の魅力いろいろ

ほどがや語りべ集

新旧融合今井エリア

### 今井の丘公園 ～新たな桜の名所に～

**昔** <sup>むさし</sup>の武蔵の国と<sup>さがみ</sup>相模の国との国境の丘陵に位置し、かつて今井城（山城）があったとされていることから、今井の丘公園と名付けられました。

**丘** の起伏を活かし、多目的広場、子どもの遊び場、樹木エリア、そして傾斜を利用した散策路などがコンパクトにまとまっていて大人も子どもも楽しめる公園です。

**新** 桜ヶ丘にある桜並木の老朽化に伴い、この公園を並木に代わる新しい桜の名所とすべく、数年前から、地元有志によって桜の植樹が始まりました。

**春** には「ふれあい桜まつり」が開催されます。花咲爺さんの飴まきは地域の子もたちに大人気のイベントです。



語りべ：中村 好美さん

## 7 丘の上、閑静な住宅地 法泉

### 坂を上がっての住宅群

**法** 泉地区は、開発前まで新桜ヶ丘地区同様、全て山だった。現在は、周りを横浜新道や保土ヶ谷バイパス、今井街道などの高速道路に囲まれており、また今井川なども流れている。バイパスを走る車のライトの流れなどが住宅から見え、美しい。景色に恵まれた地域である。

**法** 泉の名前は、江戸時代の書物「新編武蔵風土記稿」にある「法禅寺」にちなむという説がある。同書によれば、法禅寺は「樹源寺」の後ろに存在したという。



住宅地から見られる美しい夕日の富士山

ほどがや語りべ集

新旧融合今井エリア



# 7 丘の上、閑静な住宅地 法泉

ほどがや語りべ集

新旧融合今井エリア

## ～法泉、わがふるさと～

子どもたちにとって、ここが故郷として、祭りを続けて38年。今は、男神輿・女神輿と二基で、毎年、町内を練り歩き楽しんでいきます。



## 法泉坂と休憩スペース

法泉坂の長い坂を家路に着く途中、一休みできる場所。(法泉2-1、近くに法泉坂の標識有り)

横浜新道(バイパス)  
車のライトの流れが美しい



権現陸橋から見る  
ランドマークタワー

語りべ：薩澤 志萬子さん